

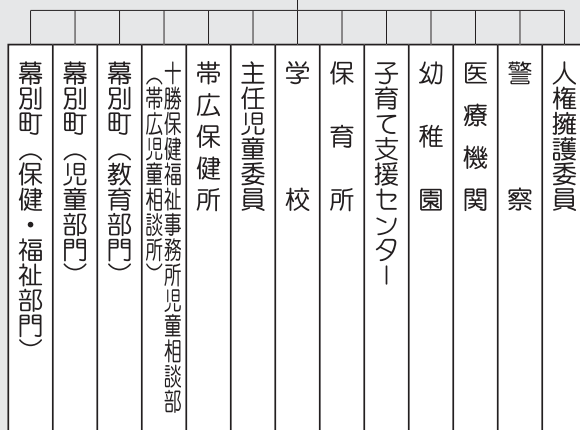
どう使ったのか

児童虐待に係るネットワークの町民への周知

Q 児童虐待を防ぐためのネットワークがあることが町民に知らされていないと思うが。

A いろいろな事件が起こる可能性はこれから多くなると考えており、また、いろんな方の協力をいただくためにも啓蒙に努めていきたい。

幕別町児童虐待ネットワーク会議



※事務局～役場保健福祉センター内

名誉町民の年金制度の改善

Q 名誉町民の年金は、お金で示して価値を評価するものではないと思うので、今後、この制度について改善していくべきではないか。

A 本町では、名誉町民の方から毎年全額ご寄付をいただいている。忠類村では、現に年金の支給を受けており、合併協議の中で、どう調整するか話をしている。現に貰っている方は、引き続き制度は存続するが、新たな方については、言われるような方向で見直しをしていくことで、内部で協議をしている。

事業に必要な更地購入に係る中小企業貸付金の貸付

Q 中小企業融資運用資金貸付金の設備資金は、更地の土地について認めないとしているが、資材置場など、事業によって必要な場合がある。

A 設備資金は、土地を除く考えで進めてきたが、企業誘致の観点から、運用の中で十分検討させていただきたい。

墓地通路の除雪

Q 平成15年度は雪が多く、3月のお彼岸の時に墓地のお墓参りができなかったと聞くが、太い道路だけでも排雪できないか。

A 墓地の駐車スペースは除雪しているが、中の通路は雪を機械で押すと墓石を壊すということもあり除雪をしていない。住民からいろいろな意見を聞いており、検討したい。



墓地通路の除雪を望む声があるが

グリーンツーリズムの具体的な取り組み状況

Q グリーンツーリズムの研究成果と方向性は。幕別町としてグリーンツーリズムに取り組む可能性はあるのか。

A グリーンツーリズム、いわゆる農村休暇法に基づく市町村計画は、計画の具体性、農業者の意識、都市計画法の開発許可制度の要綱制定の遅れから策定にはいたっていないが、平成16年度中には幕別町全域を計画区域として計画策定をすべく作業を進めている。



協働のまちづくりの中で対応できないか

古い平屋の公営住宅の屋根の雪対策

Q 古い平屋の公営住宅は、屋根の上に凍った雪が積み重なって住んでいる方は非常に苦労しているが、行政として対応できないか。

A 今までに町で対応したこともあるが、入居者の管理の中でやっていただいている状況にある。今後は、協働のまちづくりの中で対応していきたいとの考え方をもち、今、検討している。

限られた予算を

Q 体育施設の修繕計画
町民プールの方向性と、スポーツセンター、トレーニングセンター、武道館といった体育施設の修繕計画をどのように考えているのか。

A 町民プールは躯体構造に致命的なことがないので、少しでも長くもたせていきたい。また、町民プールの統合についてはこれからの検討事項と考えている。

体育施設は、将来の修繕計画をつくっていかねばならないと思っている。



老朽化が進む町民プールは今後の検討課題である

Q 学校や公園の果樹の管理
学校や公園には11種類、393本の果樹が植えられているが管理が良くない。本町には果実に詳しい人がたくさんいることから、ご協力をいただき、もっと積極的に取り組む姿勢が必要ではないか。

A 町内には果樹研究会など果樹に詳しい方がおり、職員にも研修会や話し合いに積極的に参加をさせ、皆さんに喜んでいただけるような果樹づくりを目指していきたい。

Q 教育関係の嘱託職員の必要性
一定程度働いてきた方が、退職した後も嘱託職員として教育関係の部署で雇用されているが、その必要性は。

A 今ちょうど教育改革のときであること、長年培ってきた専門性、経験が必要としていることから、嘱託職員を採用している。採用にあたっては全て公募しており、面接した中から適任者を決定している。

Q ペイオフ全面解禁の対応
来年の4月からペイオフが全面解禁されるが、本町の基金についてどのような対応していくのか。

A 決済性の預金は金利ゼロでありペイオフの適用外であるが、全面的に積み替えていいのかという議論がある。

当面は、短期の国債でとってはいるが、国債といえども100%安全とは限らない。来年の4月までに方針を出したい。

Q 消費生活相談の対応拡大
消費生活相談が随分増えているが、相談員による対応についてどう考えているのか。

A 相談業務を行っている土曜日、日曜日について、十勝全体で対応できるように、消費者協会や帯広市に働きかけをしている。



Q 消防の通信回線デジタル化に伴う方向性
東十勝消防組合としての通信回線のデジタル化に伴い、近い将来、機器の更新により多額の投資が予想されるが、その方向性は。

A 数十億円の費用がかかることになってくるので、十勝管内六つの本部体制で整備するのではなく、できる限り十勝で一本化を図ってきたい。

平成15年度決算歳出額 (億円)

会計名	予算額
一般会計	130.64
特別会計	
国民健康保険	23.68
老人保健	25.54
介護保険	10.60
簡易水道	2.27
公共下水道	14.89
公共用地取得	0.04
個別排水処理	1.87
水道事業会計	8.94
計	218.47
※町民一人当たり	約85.9万円

※質疑は主なものを掲載しています。

Q 郡部の火災発生時の対応
もし、郡部で火災があったときに、今ある消防車で対応できるのか。

A 郡部は、防火水槽10トン車2台、消防ポンプ車7台、ほかにポンプ車での対応となり、水量にして30トン以上の水になる。

それでも足りない場合は、糠内、札内に40トンの防火水槽があるので、ピストン輸送により対応する。

